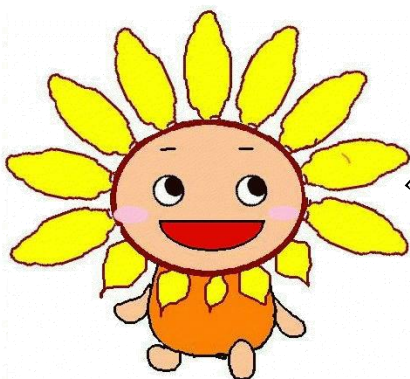


ひまわり分校の紹介

ひまわり分校は北海道大学病院に入院している児童生徒が通う学校です。

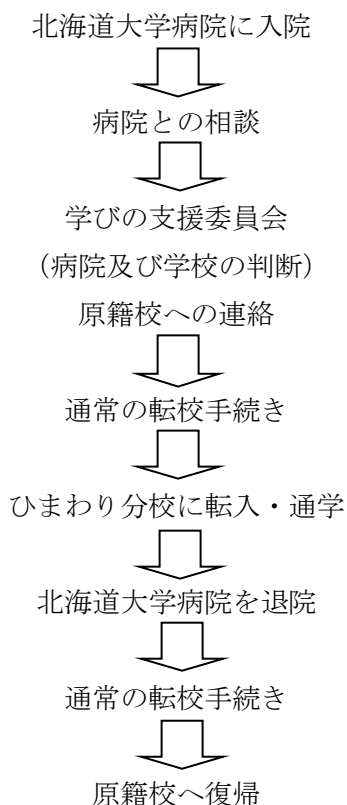
ひまわり分校のスタートは、1972年、札幌オリンピックが開催された年です。当初は、市立病院の小児科の看護師さんや医師の奥さんが先生を務めるなど、手作りの学校として始まりました。医師など医療関係者、入院している子どもたちを支える保護者の皆さんの、入院中の学習空白が学齢児に与える影響を少なくしたいという熱意が生み出した学校です。この目標は北海道大学病院に移った現在も引き継がれています。



ひまわり分校の特色

- 1 転入することにより、入院中も出席扱いになります。
- 2 できるだけ*原籍校で行っている学習を行い、学習が遅れないようにしています。（*入院前に通っていた学校）
- 3 医師や看護師と連携を取り、病棟での約束や学校のきまりを守るようにし、規則正しい生活ができるよう支援しています。
- 4 様々な行事や活動を通して、病気に立ち向かう、たくましい心を育てます
- 5 一日も早く原籍校へ戻る事が一番の目標です。治療や検査を最優先しています。

【転校手続き】



※ 転入手続きに、1週間以上を要します。

ひまわり分校への転入には特別な手続きはありません。（指定変更願等の手続きは分校で行います。）教科書や学用品も原籍校で使用したものをそのまま使います。

分校は、特別支援学校(病虚弱)に分類されていますが、学習内容は通常の学校と同じです。体育も医師の指示を受け、それぞれの児童生徒にできることを行っています。

転入の希望される方は、分校との面談日程を看護師さんに調整してもらってください。

お問合せ先

札幌市立幌北小学校ひまわり分校
札幌市立北辰中学校ひまわり分校
札幌市中央区北14条西5丁目
北海道大学病院内



TEL 716-5633 FAX 716-5636

※ 詳しくは、ひまわり分校のHPをご覧ください。「ひまわり分校」で検索。→ 幌北小・北辰中ひまわり分校をクリック！